

10周年の第10巻

心理臨床センター副センター長 杉 若 弘 子

毎年1巻ずつ発行されてきた本誌は、今号でめでたく第10巻をお届けできる運びとなりました。ひと区切りとなる巻数に気づいたのは、つい先ほどです。また、それとともに、2010年11月に継志館（今出川校地）にて開設された心理臨床センターは、昨夏の尋真館（新町キャンパス）への移転を経て、今秋で開設10周年を迎えることになりました。楽屋話のようで恐縮ですが、昨年の心理学部開設10周年に続く慶事です。穏やかな春に始まる年度進行であったなら、ささやかな企画を実施していた頃かも知れません。ですが、言うまでもなく、今年度の進行は特別です。昨年の今頃には誰にも想像さえできなかった状況が世界を覆い尽くしました。流動的な事態が続く中、当センターでも様々な対策を立てながら、今日に至っています。今号には、特集として、当センターにおける新型コロナウイルス（COVID-19）感染予防対策に関わる資料が掲載されています。力作揃いの研究論文とともに、お目通しいただければ幸いです。依然として、見通しのつきにくい日々が続いておりますが、可能な限りの工夫と対策を講じながら、次の10年に向けた活動に取り組んで参ります。皆様には、引き続きご支援のほど、何卒よろしく申し上げます。